

第29回

斎王まつり

いにしえの都に遊ぶ



平成23年

6/4(土)(雨天の場合中止)

前夜祭 17時～21時

斎王市 15時～21時

斎宮歴史博物館会場
開会式・斎王他出演者披露

6/5(日)(雨天の場合中止)

禊の儀・斎王群行 13時～15時

上園芝生広場～斎宮歴史博物館

斎王市

アトラクション 10時～15時

主催 斎王まつり実行委員会
フォトコンテスト作品募集

三重県明和町

配役

さいおう
齋王



子供齋王



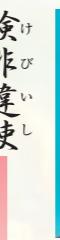
近衛使



舞人



検非違使



稻垣 明香
(春日井市)



山本 菜岐穂
(大阪市)



船橋 優子
(横浜市)

隨身



坂谷 有絵



信従



中村 幸美
(明和町)



近藤 加奈
(東海市)

風流傘



長井 理奈
(多気町)



岡村 好美
(鳥羽市)



北村 仁美
(岐阜市)



大谷 廣美
(檍原市)



倉谷 美香
(熊野市)

輿丁



奥田 勲
(四日市市)



鈴木 直孝
(四日市市)



西尾 恵美
(明和町)



堀井 めぐみ
(松阪市)



中北 沙良
(伊勢市)



広野 真智子
(津山市)



小林 和加
(明和町)

采女



佐保 めぐみ
(一宮市)



中西 麻佑
(玉城町)



石田 桂
(横浜市)



山本 志野
(伊勢市)



田中 千恵
(津市)

女孺



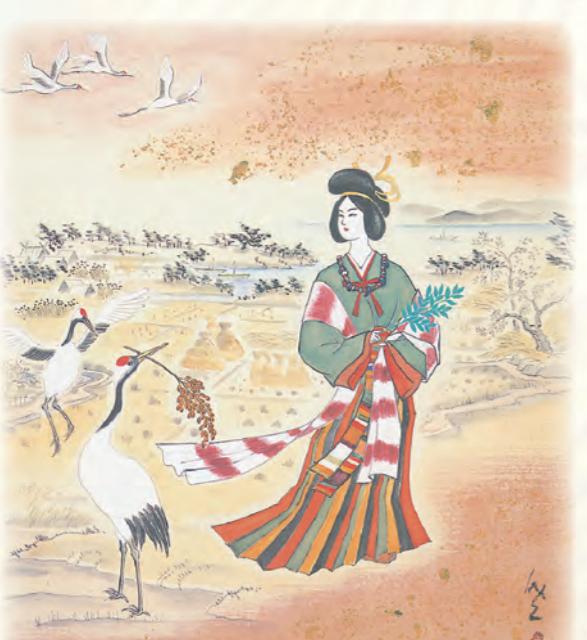
三橋 絵理子
(伊勢市)



三浦 彩華
(岡崎市)



澤村 優香
(伊勢市)

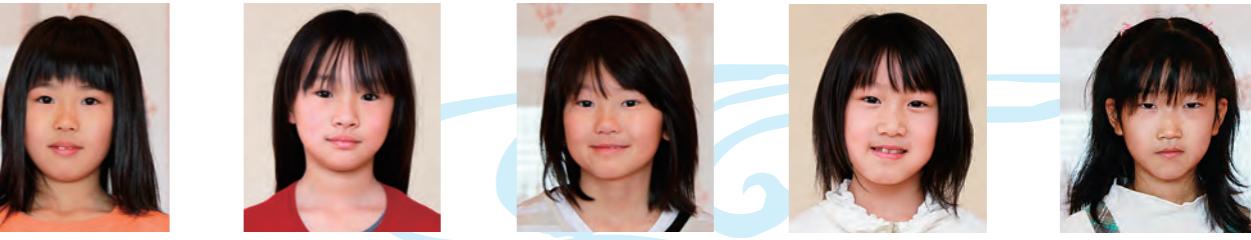


童・童女 出演者

(順不同)



阪井 あいり 下山 凜 上田 芽依 河井 香 小林 柚輝



森 結那 川北 莉帆 北村 奏羽 濱田 万琳 稲浦 優



小宮 奈桜 山本 怜依 中島 歌音 松田 東子 若宮 綾花



河俣 朱香 中野 真果 山本 怜美 喜多 美稀 河井 美樹



伊藤 好花 福谷 光夏 村田 陽菜 岡本 風布 田畠 希望



奥田 七海 田中 杏奈 阪井 真有 三宅 亜実 北吉 美優

斎王まつり二十九回を迎える

斎王まつり実行委員会 広報班

『第二十九回斎王まつり』今年も華々しく開催されます。

でも、2011年は東日本大震災に見舞われ、たくさんの方々が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災、諸外国から日本人を賞賛するコメントが多く寄せられたようです。

地震から津波発生の時間が短かったのに避難するにも「思いやりの姿」被災地での「冷静さとマナーの良さ」また「秩序が乱れない」など、物資配給がままならないときでも、略奪など皆無であることが高く評価されたようです。

日本人として誇りに思います。

『日本人の美德』これは、今に始まったものではなく先人たちから受け継いだ精神だと思います。

私達は、もっともっと先人たちを知り・学ぶことで日本人らしさを未来へ継承していくけるのではないかでしょうか。

サブテーマ『いにしえの都に遊ぶ』

はるか悠久の風を…心を…ここ竹の都斎宮で味わつていただければさいわいです。

なお当日、東日本大震災の義援金を募りたいと思います。何卒よろしくお願ひします。

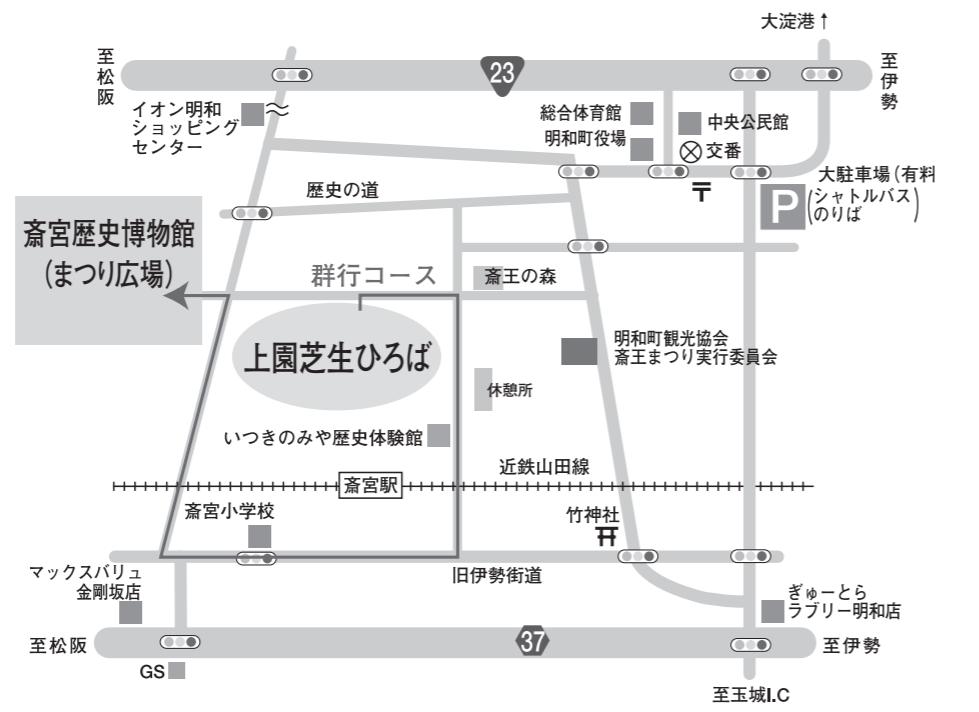
(雨天中止) 6/5(日)

(雨天中止) 6/4(土)

14 30 15 00	13 30 14 30	13 00 13 30	10 00 15 00	17 00 21 00	15 00 21 00
上園芝生広場から 斎宮歴史博物館会場まで	上園芝生ひろば(斎宮駅北側)	上園芝生ひろば(斎宮駅北側)	斎宮歴史博物館会場 ステージで 各種アトラクション	斎宮歴史博物館会場 アトラクション	斎宮歴史博物館会場 アトラクション
社頭の儀	斎王群行	禊の儀・出発式	斎王市 アトラクション	前夜祭 カーボンパンチ	斎王市 アトラクション
14 30 15 00	13 30 14 30	13 00 13 30	10 00 15 00	17 00 21 00	15 00 21 00

もくじ

- 斎王まつり配役 2
- 斎王まつり童・童女出演者 4
- 斎宮の歴史語り(その五) 6
- 斎宮跡の発掘調査 9
- 映像展示「斎王群行」と
斎王良子内親王 11
- いつきのみや歴史体験館 13
- 斎王まつり実行委員のページ 14
- 図書の紹介 / 実行委員会組織体制 22
- 斎王まつり実行委員会活動 23
- 群行衣裳 24
- フォトコンテスト 26
- 第28回斎王まつりの思い出 28



斎王を ひもとく

斎宮の歴史語り（その五）

ふるさとの語り部
山川充造

『斎王をひもとく』をテーマとしてこの稿に取り組んで十年ほどになる。このこととは別に斎宮の『語り部』ボランティア・ガイドとして、遺跡現地で一週間に二回ほどは担当している時折を、旅の人々と交わす斎宮の歴史会話の中には、日本人として共通ものを感じる話題に進展することが多い。

年間続いた斎宮の歴史と五十数人の斎王と数えられる女性たちの生き様は古代王朝につながる日本文化の変

『皇女伊勢斎王に侍る』とある。斎宮歴史二代目の斎王であり、母は宍人臣大麻呂の女として朝廷の近くに仕えていたのであろうと『続・日本紀』は伝える。

古典の中の記述には幾通りにも記載されるが、その一つが斎王である。斎王は、元の名前を「斎」、号を「王」として、本名を「王」、通称を「斎王」として、このように複数の名前で呼ばれていた。斎王は、元の名前を「斎」、号を「王」として、本名を「王」、通称を「斎王」として、このように複数の名前で呼ばれていた。斎王は、元の名前を「斎」、号を「王」として、本名を「王」、通称を「斎王」として、このように複数の名前で呼ばれていた。

（六八六）年当時斎宮に在つた異母姉『大来斎王』の所へ数人の異母姉妹と共に遊びに来た姫の一人であつた。

天皇の第七皇子志貴の妃となり、万葉集に採録され、元智とて通じる。

七百五年『続日本紀』文武紀――
月一九日には、神宮や斎宮に仕える
者、老人の女以外は垂髪を禁じ、結
髪せよとの出された規定を見ても、
遡れば六八二年一二月、大来斎王の

術的な焼き物は発掘されているが時

遷を知る楽しい歴史遊びの空間でもある。

来客の中には、古代王朝歴史の中
に自意識の強い解釈を取り込んだ話
題を提供してくださる方もあり、あ
る時はそれらも新鮮な話題として吸
取させて頂いてきた。

すでに何回かこの地に来られ、以前に書いた記事を話題にされたこともあった。

『春過ぎて夏来たるらし白榜の衣乾^はしたり天の香具山』に異論を出されたことがある。

私にも、確か教科書では、『春過ぎて夏来にけらし白榜の 衣乾してふ天の香具山』と習った記憶があるが、いま五十の坂を遙か昔に超えた私の脳裏には、教科書記述は資料としてはなく、韻律の良い歌の情景が浮かぶ瞬間であり想いである。

決め事が実行されるようになつてい
つた。

昨年の稿に、泉齋王が選出された
時代は短期間な朝廷の異動に関連し
ていたと書いた。それらに伴つて試
行錯誤されてきた国の制度も『法』
として組み込まれ、律令のあり方は
走りながら大宝律令の肉付けをして
いつた感がある。

されば六八二年、神と詠まれた天
武朝の国を治める手段の中にも『衣
服・結髪・垂髪』令が出された時代
があつた。

この地への訪問者は北海道から沖

作を著述出来る才人で、出土してい
ない。

前任の泉斎王とは数か月の交代で
あつた。

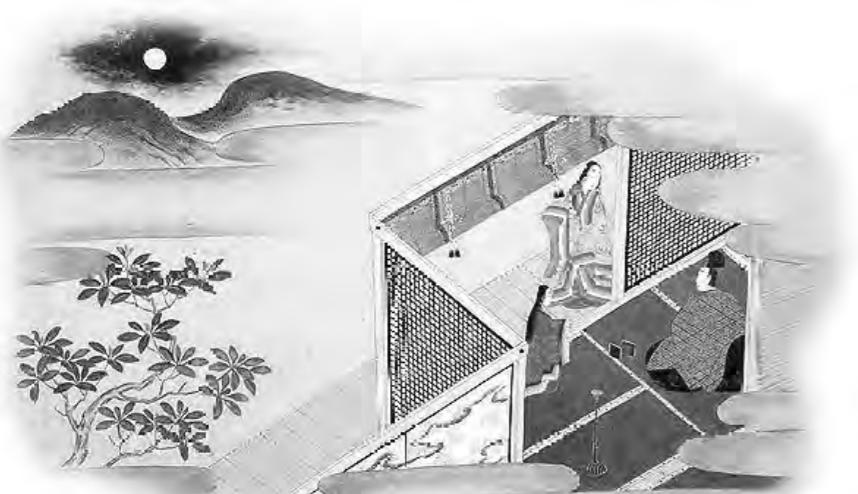
史料に拠れば大宝律令といった国
の指針に定められていった斎王制度
にも、この頃に名の残る数代の斎王
は曖昧な部分の多い歴史として記さ

れているのみである。

令は一般の法令。
参考史料
斎宮志
山中智恵子

斎宮志 山中智恵子
竹の斎王語り 山川修司

斎宮志 山中智恵子
竹の斎王語り 山川修司



平成22年度の 斎宮跡の発掘調査



平成22年度 史跡斎宮跡発掘調査区位置図

第一六七次調査では、主に奈良時代後期から平安時代後期にかけての掘立柱建物二八棟をはじめ井戸や土坑、溝など多数の遺構を確認しました。出土した遺物のうち、器の内外面に花文が描かれた緑釉陶器椀は、色も鮮やかでつくりの丁寧な高級品と考えられるもので、柳原区画が重要な場所どころかここに示す資料に言及す。加

「柳原区画」の調査

平成二十二年度は、史跡東部に広がる平安時代に造られた方格地割内で四か所の調査を行いました。「柳原区画・牛葉東区画」では、区画の性格や建物の配置などを確認するため、「下園東・御館区画」では区画道路の位置を確認するための調査を行いました。

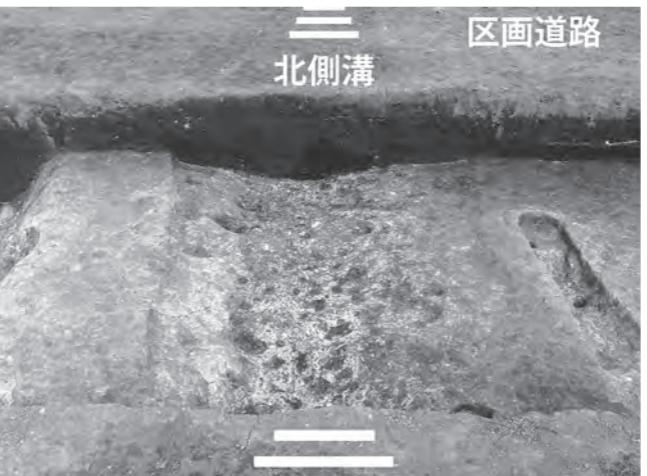
れた溝は、土層の観察より三回以上掘削されていました。溝の中からは、多量の土師器とともに碁石と思われる白色の玉石や釘などの金属製品も出土しています。また、調査区北端では、溝群よりも古い掘立柱建物一棟も見つかりました。

牛葉西区画の調査

原区画では、区画の南半部に庇を持つ格式の高い建物群があり、ここで儀礼などを行っていたのではないかと考えられます。その一方で、区画の北半部では小規模な建物が多数見つかっており、今回の調査で確認された建物群は、区画の中心施設である南部の建物を支える建物だつたと考えられ



167次調査区全景



区画道路北側溝(168次調査区)

第一六八次調査区は、下園東区画の南東部に位置し、方格地割の柳原区画と下園東区画間の東西区画道路を確認することを目的に調査を行いました。調査の結果、調査区南端で幅約一・五メートルの北側溝を確認しました。南側の第一五六次調査区では、この道路の南側溝を確認しており、側溝を含めた道路幅が五〇尺（約一五メートル）であったことも確認しました。

また、出土した遺物の中には、「殿部」・「上大口」と書かれた墨書き器も出土しており、下園東区画周辺の性格を考える上で、重要な遺物と考えられます。

第一六九次調査は、御館区画と牛葉西区画間の東西区画道路の北側溝を確認する目的で調査を行いましたが、調査区の大半が近世以降の掘削によって大きく削平されており、道路側溝は確認することは出来ませんでした。

跡に親しんで頂けるようホームページなどによる情報発信や様々なイベントを行っています。斎宮跡発掘調査の最前線をお伝えする「現地説明会」や、小中学生を対象とした「夏休み体験発掘」、一般の方々を対象とした「発掘調査体験ワーク」も行っています。発掘調査期間中は、隨時現場公開を行っておりますので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

また、柳原区画周辺では、平成二六年度（一部二七年度）の完成を目指し、実物大の復元建物三棟を含む歴史公園整備を進めています。斎宮跡博物館では、よりよい整備を行うために、「斎宮跡の史跡整備を語るつどい」などを開催し、地域の方々や斎宮跡に興味のある多くの方々と共に進めていきたいと考えております。イベントの開催や整備の進捗状況については、博物館のホームページやかわらばんを通じて公開しておりますので、こちらもお気軽にご参考ください。

（斎宮歴史博物館 技師 新名強）
斎宮歴史博物館ホームページ
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>



発掘体験ワーク風景



現地説明会風景

映像展示 「斎王群行」と斎王・良子内親王

斎宮歴史博物館

斎宮歴史博物館は、展示を通して「斎王とは何か」を皆様に知っていたとき、また、その宮殿跡だった史跡斎宮跡に一層の興味や関心をお持ちいたくための施設です。そしてその導入部分と位置づけているのが、映像展示「斎王群行」です。

この映像は、斎王の「都から天皇の代わりとして、人々と別れてはるばる旅をしてくるお姫さま」という特徴をまずご理解いただき、その後で展示室を見学する時に、より斎宮に親しんでいたことを目的に作っています。その主人公として取り上げられていますのが、これからご紹介する良子内親王です。

読み方が記録されている人はとても少なく、博物館でも「たぶんこういう感じ」で、漢字の意味から訓読みを充てているにすぎません。その読みみ方がわかつている数少ない一人がこの人です。良子内親王は、斎王になつた時に、「良子」と名付けた（たぶんそれまでは「女一宮」とだけ呼ばれていたか、別の幼名があった）と『範国朝臣記』いう日記に記録があり、そこには注として「良の字は長と読む」と書かれているのです。「良」と「長」に共通する訓読みは「なが」ですから、「よしこ」ではなく、「ながこ」だとわかるわけですね。

この一事だけでもお気づきのように、良子内親王には、他の斎王には見られない色々な史料が残されています。それは彼女が天皇の娘の斎王だったからです。良子が斎王になつたのは長元九年（一〇三六）、この時

「良子」と書いて「ながこ」と読みます。じつは斎王で、その名前の

跡に親しんで頂けるようホームページなどによる情報発信や様々なイベントを行っています。斎宮跡発掘調査の最前線をお伝えする「現地説明会」や、小中学生を対象とした「夏休み体験発掘」、一般の方々を対象とした「発掘調査体験ワーク」も行っています。発掘調査期間中は、随时現場公園を行っておりますので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

また、柳原区画周辺では、平成二六年度（一部二七年度）の完成を目指し、実物大の復元建物三棟を含む歴史公園整備を進めています。斎宮跡博物館では、よりよい整備を行うために、「斎宮跡の史跡整備を語るつどい」などを開催し、地域の方々や

斎宮跡に興味のある多くの方々と共に進めています。斎宮跡博物館では、よりよい整備を行った後に、地域の方々や

語るつどいなどを開催し、地域の方々や

斎王まつり研修旅行

の歴史は、竹の都と呼ばれた斎宮の原点といえる場所かもしれないのです。

(八田明美)

今回の訪問先は京都市向日市と長岡京市です。まず向日市を訪問します。

向日市は竹の里として知られています。斎宮も竹に縁の深い地です。昔、斎宮は竹の都と呼ばれています。多気郡の由来なども、竹のゆらいによるものです。

『斎宮村郷土史』によると、「古代に大和の国の天香具山の竹を移植された所だ」とい伝えられています。俗に寒竹(原文・漢竹)に類するもので、細くて短い竹であった。この藪もすでに開墾され農地になっている。とあります。

天香具山は、奈良県橿原市南浦町に所在する大和三山のひとつです。天香具山は天から降ってきた山であるという伝承のある山です。天から降ってきた山に自生していた竹を斎宮に移し植え、その竹の株が呉竹の

藪となり、しだいに竹の都と呼ばれます。以前の地名は、大字斎宮笛川です。現在の地名は中町です。

中町から役場に至る道路から五十m程東側に平行するエンマ川沿いの小道があります。呉竹の藪跡の竹は笛の素材にも適していましたとされていますので、竹笛として使われ、在原業平などの貴族や、斎宮寮で働く男官も、呉竹の藪近くの笛川橋のたもとで、笛を吹いていたかもしれません。

呉竹の藪跡に佇むと、不思議なもとので、地面から土の声・歴史の声が聞こえてくるように思えます。斎宮寮の盛んな頃は、斎王や女官たちの潤いの場として使われていたに違いません。いずれにしても、呉竹

皇を父として、皇太子の地位にあつた首皇子のちの聖武天皇の娘で天武系でした。井上内親王は五歳でト定され、聖武天皇即位後に11歳で、斎宮に群行しています。光仁天皇と井上内親王の娘である酒人内親王も斎王になりました。その酒人内親王も、退下後に、桓武天皇の妃となつて、その娘の朝原内親王が、また、斎王になつています。三代の斎王は異例でした。(八田明美)

②訪問場所 向日市 竹の径



竹の径

たけのみち

竹穂垣、古墳垣、寺戸垣、物集女垣、来迎寺垣、かぐや垣、深田垣と7種類の竹垣が整然と連なる全長約1・8キロの孟宗竹林に竹垣を連ねた竹林道です。木漏れ日を浴びながら竹林浴をすると、斎王まつ

りの舞台ヒントになる竹垣がみつかるかもしれません。

また、竹にまつわる地域おこしの一環として斎宮にも、このような竹の径を提案させていただきます。

向日市では十月下旬に「竹の径・かぐやの夕べ」が行われ、四千本の竹行灯からろうそくの灯が彩られます。また、乙訓地方の竹林は「かぐや姫」伝説発祥の地ともいわれています。尚、竹の径は、国土交通省「手づくり郷土賞」、全国歩き百選、日本ウォーキング協会「全国歩きたくなれる道500選」など数々の賞に選ばれています。

③訪問場所 洛西竹林公園 竹の資料館



竹の資料館

竹の資料館

武の皇后は、藤原乙牟漏といい、式家藤原良繼の娘です。父親の光仁天皇(天皇在位期間七七〇~七八一)

の病気理由の引退により、長子の桓武天皇(天皇在位期間七八一~八〇六)が受け継いだ。天応元年、

桓武天皇四十五歳の時でした。血統

は、天智天皇。壬申の乱以来、天武

は、天智天皇。壬申の乱以来、天武</p

京都洛西の向日市、長岡京市の歴史を訪ねる研修

中川裕正



向日市には数年前に春の桜、秋野

紅葉などの行楽には訪れてはいま

す。

桜は長岡宮築地跡の桜の路、躑躅の名所の長岡天満宮、紅葉は西山栗生の光明寺などはとても佳い観光地です。

また近隣には西国三十三カ寺の二十番札所『善峯寺』があり、山門の石段を上ると五葉松で「遊龍の松」があり松の寺として有名、また東には天王山がある、

戦国時代に羽柴秀吉と明智光秀が戦った「天下分け目の天王山」は有名です。

麓には「秀吉の路」陶板画で秀吉天下取りの物語を解説している。

他にアサヒビールの大山崎山荘美術館などがある。この研修は歴史探訪で先ずは埋もれていた古代の『長

天皇が政務、儀式を行う際、臨御する場所もある。また、元日や即位式に前庭にのぼりを旗を立てる「宝幢」の赤い柱が七本復元されている。

大極殿から数キロ先に向日市が觀光に力を入れている『竹の径』へバスで移動する。竹の径は市の北西部の丘陵に位置している。地域は古墳、トリムコースなど市民のウォーキングや散策の場として、また多くの観光客にも親しまれている。竹の枝を1.5メートルの高さに束ねた「竹穂垣」竹林道の両側は情感豊かな風情があつた。途中には古代時代の前期の方後円墳の「寺戸大塚古墳」があり、墳丘は長さ95m、高さ9mで後円部は三段構成で前端幅38mくびれ部は35mもある。中国製の三角縁神獸鏡や浮彫式獸帶鏡、刀剣、鉄斧、勾玉など多くの出土品があり向日市文化資料博物館に展示されていた。また竹の径には古墳のイメージしたデザ

インの古墳垣があつた。

さらに竹垣は矢来垣を応用した「古墳垣」「寺戸垣」「物集女垣」「かぐや垣」などで竹の径の整備に向日市はなお一層の力をいれていた。

次に乙訓寺へ、この寺は乙訓地方（向日市、長岡京市、大山崎町の桂川右岸に位置）にあり推古天皇の勅願寺として聖德太子が創建したと伝えられている。本尊は十一面觀世音菩薩で聖德太子の建立である。なお

あり、五月には花ひらき陽春には花の寺として沢山の観光客で賑うようでした。

で鮮やかな色彩を残し眉間にしわをよせた表情があり独特な仏像でした。またこの寺は二千本余株の牡丹があり、五月には花ひらき陽春には花の寺として沢山の観光客で賑うようでした。

次に乙訓寺へ、この寺は乙訓地方（向日市、長岡京市、大山崎町の桂川右岸に位置）にあり推古天皇の勅願寺として聖德太子が創建したと伝えられている。本尊は十一面觀世音菩薩で聖德太子の建立である。なお

あり、五月には花ひらき陽春には花の寺として沢山の観光客で賑うようでした。



岡京）へ・・・

最初に訪れたのは、桓武天皇皇后の藤原乙牟漏の墓とされる陵墓へ参る。記念写真を・・・

長岡京は、桓武天皇が七八四年（延暦三年）十一月、奈良の都の平城京を廃止して、平安京に遷都するまでの十年間、現在の向日市・長岡京市・大山崎町の一部におかれた都です。

この遺跡の発掘は昭和三十年頃に地元の歴史地理学者、中山修一氏らが「長岡京の都は必ず発見される」

と古代の都への情熱で発掘が進められて、朝堂院南門跡の発見、大極殿跡、小安殿跡などが次々と発掘され

て行った。大極殿は今は街中にあり史跡大極殿公園として整備されています。大極殿は瓦葺きで礎石に朱塗りの柱が立つ立派な建物であったといふ。

最後に長岡京市の長岡天満宮と八条ヶ池へ、この天満宮は菅原道真が太宰府に左遷された時に名残を惜しむために訪れたといわれ、道真の祭神として奉っている。また道真は天満宮では在原業平らと共に度々詩歌管弦を愉し�んだそうだ。九州配流に際して都を振り返り名残を惜しむ歌を詠んだことで「見返りの天神」とも云われている。八条ヶ池には三つの石橋が架かりその石橋の間には市指定天然記念物の霧島つづじが植えられて五月には大変な人出だそうです。

以上多くの歴史史跡を探訪をすることが出来て有意義な研修でした。

寺宝に重要文化財の毘沙門天立像がある。この毘沙門天像は寄木造り

長岡京と女系三代斎王

斎王まつり実行委員会

長岡京は都としては平城京から平安京へ遷都される一〇年間存在して

いたことは承知していた、そうすると

と平城京の廃都は七八四年かと思

ながら関連資料を探すこととした。

平城から山城への間に長岡を含め四

つの都が存在している。

聖武天皇時代（在位七二四～

七四九）の恭仁京（七四〇～七四四）

難波京（遷都せず？）紫香楽宮

（七四五）、これは唐ならつて三都制

を施行としてのではないかと思われ

るが、いずれも火災、天災害により

失い、五年後に再び平城京へ戻りそ

の後四〇年を経て平城京を七八四年

に廃都し長岡京へと遷都することに

なる。

藤原京、平城京、平安京の順が一

般的であるのは前記の理由であり、

長岡京についてもわずか一〇年間の

都であつたことからこれらの都は存

在が薄い。

長岡京跡は住宅地であることから

発掘・調査は困難であつたと思うが

大極殿跡も発掘されており完全な中

央政治の場であつたことがわかる。

「皆様方で長岡京のPRをよろしく」

と言われたガイドさん、「本紙にはち

ゃんと載っています」と答えておき

ました。

さて、長岡京遷都は桓武天皇（在

位七八一～八〇六）となるわけです

が当時の斎王は朝原内親王（大伯以

降十五代、桓武天皇女）である。

系譜を追うと父は桓武天皇、母は

同妃酒人内親王（同十三代斎王）、祖

母は井上内親王（同九代斎王、聖武

天皇女）の名前が出てくる。朝原

内親王は七八三年（四歳）でト定、

八歳で下向している。発遣の儀は旧

都平城京で行われ天皇みずから酒人内親王を伴つて平城京へ行幸し、大和の国境まで天皇はじめ百官が見送る異例の儀式であった。

その後、天皇不在の長岡京で、腹心の藤原種継が暗殺され連座の罪により叔父で皇太子の早良親王が廃された。

その後、長岡京では桓武天皇の身辺に不吉な出来事が頻繁に起こった

り、肉親に死者が多く出たことで、冤罪で誅された早良親王の怨霊の噂がでたことが平安遷都を決行した理由ではなかつたのか。

また、自身も「薬子の変」に巻き込まれている。

また、自身も「薬子の変」に巻き

子である皇太子とともに廃后、廃太子されている。

母は天皇を呪詛したとして我が祖母は天皇を呪詛したとして我が

女性といわれた。

母は「浪費が激しく派手な交友、

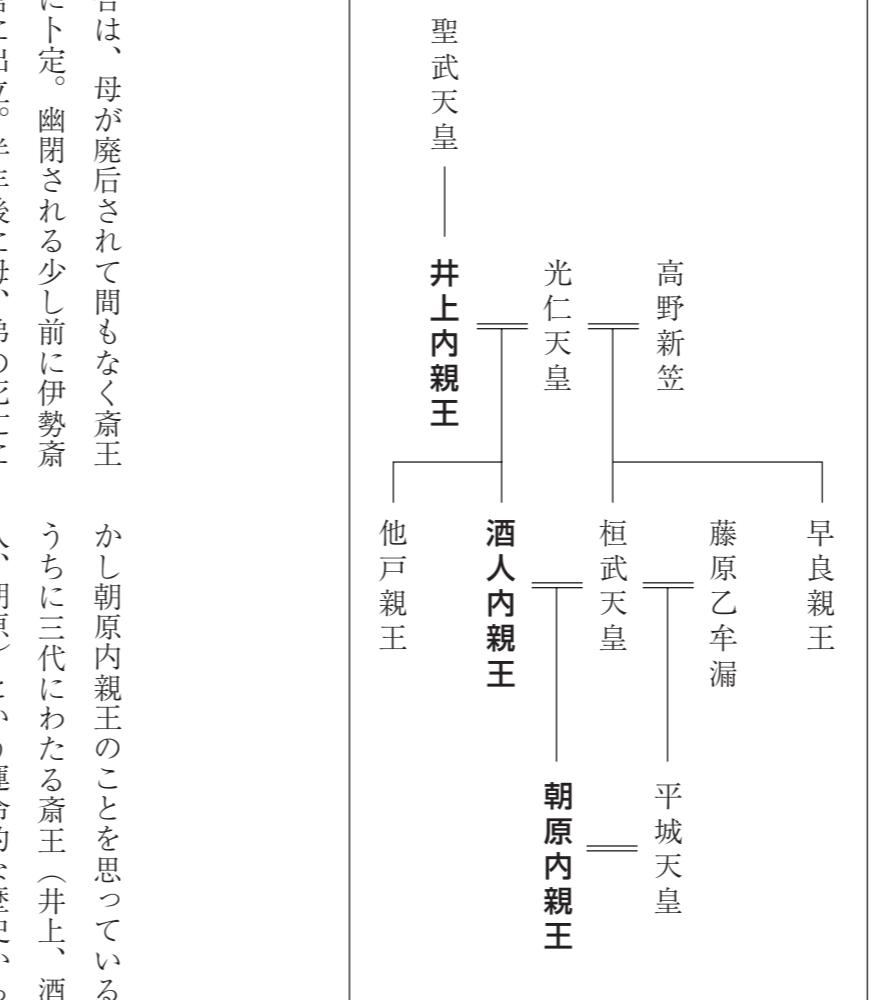
華やかな催しを好んだ」わがままな

婚するためではないかと思われる。

母は「浪费が激しく派手な交友、

華やかな催しを好んだ」わがままな

婚するためではないかと思われる。



斎王と権力闘争

会場 斑 東谷泰明

斎王は天照大神に仕える清淨な女性。国家の権力争いとは無縁の存在

のはずだが、人間の世界、言つてみ

れば命ある者全て、生きていること

自体が生存競争にさらされている。

斎王もその例外ではない。いや、例

外どころではない。天皇という絶対

権力者の内親王であるかぎり、否が

応でも国家権力を継承する争いの渦

に巻き込まれていかざるを得ない。

そもそも歴史的初第斎王の大伯皇

女は、父天武天皇が壬申の乱で近江

朝廷（大友皇子）を転覆させること

を天照大神に祈願し、実現したその

ことで伊勢斎王として斎宮に来られ

た。そして、その後、弟大津皇子は

権力継承争いに敗れ、持統天皇とな

る皇后によつて死を賜つた。大伯斎

王の「あかときつゆにわがたちぬれし」「上山をいろせとわがみむ」は

また井上内親王の娘酒人内親王の場

で権力抗争の中で起つていて、

長岡京に研修に訪れ、長岡京と平

城京、さらには平安京のことを含め

て桓武天皇を書くつもりだった。し

安京へ遷都される一〇年間存在して

いたことは承知していた、そうすると

と平城京の廃都は七八四年かと思

ながら関連資料を探すこととした。

平城から山城への間に長岡を含め四

つの都が存在している。

聖武天皇時代（在位七二四～

七四九）の恭仁京（七四〇～七四四）

難波京（遷都せず？）紫香楽宮

（七四五）、これは唐ならつて三都制

を施行としてのではないかと思われ

るが、いずれも火災、天災害により

失い、五年後に再び平城京へ戻りそ

の後四〇年を経て平城京を七八四年

に廃都し長岡京へと遷都することに

なる。

藤原京、平城京、平安京の順が一

般的であるのは前記の理由であり、

長岡京についてもわずか一〇年間の

愛する者と別れる歴史的な絶唱とな

っている。

井上内親王は聖武天皇の第一皇女

で母親は県犬養広刀自。七二一年斎

王にト定。七七四年、兄安積親王

が恭仁京でなくなつたので退下され

た。この兄も有力な皇位継承者であ

つたが、藤原氏以外の出自であつた

ため、死亡の背後に藤原仲麻呂が見

え隠れしている。井上内親王はこれ

より退下させられる。まるで母と弟

の死から、斎宮と言う遠隔地へ酒人

を隔離するかのようなト定と退下で

あつた。帰京後彼女は山部皇子（後の桓武天皇）の妃となり、その間に

生まれた朝原内親王も七八二年四歳

で斎王にト定。三代にわたる斎王となつた。

父桓武天皇はこの娘を相当可愛く

思つていたらしい。七八五年八月、

建造途中の長岡京から奈良大極殿ま

で天皇は行幸し発遣の儀を行つた。

また大和の国境まで百官と見送りし

たといわれている。しかし翌年十八

歳の朝原斎王は身内の不幸がないに

もかかわらず退下。安殿親王（後の

平城天皇）に嫁いでいる。

「わづか一〇年ですが、日本の歴史

に長岡京時代があつたということを

ておいてほしい」とのこと。誠にも

つともなことだと思う。

図書紹介

私達の「斎宮」について
より多くのことを知つていただくために
一地元で読める斎宮関係図書のご紹介

凡例
 ○ふるさと会館（図書館）で貸出可
 ☆いつきのみや歴史体験館
 ◇斎宮歴史博物館図書ホールで閲覧可
 ○ふるさと会館（図書館）で閲覧可
 ○博物館ミュージアムショップで販売
 ◇斎宮歴史博物館図書ホールで閲覧可

「斎宮」の入門書として	谷口布有緒文「里中満智子画『斎王ロマン 都わすれの詩』明和町○☆
「斎宮」を知りたい方に	中野イツ著「斎宮物語」明和町○☆
郷土の歴史として「斎宮」を歩いてみたい方に	山川修司著「語り部の竹の斎王語り」近代文芸社○☆
「斎宮」を歩いてみたい方に	榎村寛之著「伊勢斎宮と斎王」塙書房☆
「斎王」行の旅した「群行」の道を歩いてみたい方に	奥井宏忠著「別れの御櫛—斎の宮と斎宮寮」光書房○◇
「斎王」を小説で読んでみたい方に	明和町教育委員会編「郷土史に見る斎王」○◇
「斎宮」や「斎王」について考えてみたい方に	三重の文化財と自然を守る会編「伊勢斎王宮の歴史と保存」○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	田畠美穂著「斎王のみち—伊勢斎宮の文化史」中日新聞本社○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	内田康夫著「斎王の葬列」角川書店○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	池田美由喜著「鶯草—大津皇子とその姉と」新風舎◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	村井康彦監修「斎王の道」向陽書房○☆◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	郡俊子著「倭姫宮の御巡行」勢陽文芸○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	「伊勢斎王の恋」近代文芸社○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	「哀しみの伊勢大来斎王」近代文芸社○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	タカハシタツヨウ著「斎宮」学生社○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	山中智恵子著「斎宮女御徴子女王—歌と生涯—」大和書房○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	津田由伎子著「斎王」学生社○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	所京子著「斎宮志」大和書房○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	榎村寛之著「斎王の歴史と文学」国書刊行会◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	「斎宮志」砂子屋書房○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	「斎宮劄記」砂子屋書房○◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	「斎宮の歴史と文化」国書刊行会◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	中川ただもと著「律令天皇制祭の研究」塙書房◇
「斎宮」を小説で読んでみたい方に	服藤早苗著「歴史のなかの皇女たち」小学館☆



竹神社お祓い

みんなで頑張ります。

くい打ち

打ちあわせと準備

どしゃぶりの雨の中カッパ姿で準備

後援 民族衣裳文化普及協会

第28回（平成22年度）斎王まつり実行委員会活動

1月 12日(月)	会計監査(久世晃 浅尾美代子 森下 清 野畠久子) 役員会 着付け衣裳出し(いつきのみや)
16日(土)	
18日(月)	
22日(金)	花の窟神社来所(事務局対応)
24日(日)	実行委員会総会
2月 7日(日)	視察研修(奈良方面) 役員会(群行出演者書類選考)
18日(木)	
24日(水)	総務財務・会場・まつり実施班合同会議
28日(日)	「梅まつり」協賛(斎宮歴史博物館)
3月 1日(月)	斎宮小学校4年生社会見学 (斎王まつりについて4年生80名 事務局対応)
3日(水)	着付班衣裳調査
7日(日)	子ども説明会(子ども斎王抽選等 中央公民館)
14日(日)	斎王役選考会(中央公民館)
31日(水)	アトラクション出演者応募締切り
4月 14日(水)	アトラクション出演者会議
16日(金)	斎王市出店者会議
18日(日)	斎宮地区自治会長会議出席(協賛金について)
23日(金)	全体会議
25日(日)	ステージ作業・看板等作業
5月 9日(日)	群行出演者説明会
10日(月)	知事表敬訪問
16日(日)	子ども出演者説明会(斎宮歴史博物館)
18日(火)	アトラクション出演者最終会議
21日(金)	斎王市出店者最終会議 着付教室(着付班)
23日(日)	のぼり立て作業
28日(金)	最終全体会議
30日(日)	作業(ステージ等) 依頼した群行出演者説明会
6月 1日(火)	FM三重取材(事務局対応)
3日(木)	衣裳出し(着付班)
4日(金)	ステージ作り
5日(土)	前夜祭・禊の儀
6日(日)	斎王群行
9日(水)	衣裳片付け
13日(日)	会議室・倉庫片付け まつり打上(喫茶ロマン)
7月 12日(月)	フォトコンテスト応募締切り
21日(水)	フォトコンテスト1次審査
22日(木)	役員会(フォトコンテスト入賞・入選作品審査) (応募者75名 応募作品189点)
8月 8日(日)	フォトコンテスト入賞者表彰式(斎宮歴史博物館)
9月 4日(土)	会計監査(1月~8月末迄)
8日(水)	フォトコンテスト入賞作品 撤去 後 明和町郵便局 展示(10月6日まで)
10日(金)	臨時総会
22日(水)	「いつきのみや十五夜観月会」協力(斎王役・瀬田萌) 着付け班協力
10月 1日(金)	(財)国史跡斎宮跡保存協会と斎王ストラップ委託販売契約
8日(金)	役員会(ポスターについて 他)
15日(金)	東海地区郵便局長集会に歴代ポスター貸出
23日(土)	浪漫まつり協力(斎王役・瀬田萌 女官役 園田萌 小田真麻)
11月 2日(火)	フォトコンテスト入賞作品展示 (百五銀行 斎宮支店 11月30日まで)
7日(日)	「きものまつり」協力おかげ横丁にて十二単装着実演 瀬田萌
9日(火)	役員会(出演者募集について)
14日(日)	古道まつり(明星)出演協力
18日(木)	衣裳片付け
12月 1日(水)	斎王役募集開始
27日(月)	事務所仕事納め

第29回（平成23年度）斎王まつり実行委員会組織体制

役職名	構成する委員の氏名					
本 部	代表 森下 清 副代表 笠川 浩 副代表 田中 貢 副代表 岩佐康則 事務局 山中 いずみ					
会計監事	久世 晃 朝倉惟夫					
顧 問	名誉会長(町長) 中井幸充 木戸口眞澄(初代会長) 西場信行 大野秀郎 小田秀雄 北岡 泰 辻 正信 辻 丈昭 橋本久雄 山川充造					
相談役	辻 孝雄 北村純一 東谷泰明 森島啓之 西川道子					
小委員会名	任務分担の内容					
総務班・財務班	総務の実施 財務の実施 グッズ販売・スタンプラリー等 斎王市の実施					
会場班	着付会場内の管理 出演者の移動 記念写真					
着付班	着付け準備と後片付け					
まつり実施班	前夜祭の実施 禊の儀の実施 出発式の実施 群行の実施 社頭の儀の実施 アトラクションの実施					
広報班	ポスター・パンフレット原案作成 広報・宣伝事業計画					

群行衣裳



れ、貞觀・延喜式制に継承されているが、そ

の後次第に増員され、長元八年（一二〇三五）

の『看督長見不注進状』（『平遺』五一九～三

七）では左右合わせて十五人を数える。獄直

や犯罪の捜査・追捕等を任務とする。尉を中心として編制される警察部隊の一員として出

動することがあるが、単独ないし少数の従者

を率い、事に従うことが多い。しばしば行き

過ぎた捜査や追捕を行い、京民から頼りにさ

れる一方で、恐れられもした。その武力は悪

鬼魔神を懾伏するという信仰を生み、「徒然

草」二〇三には主上御惱の時、五条の天神に

看督長の鞍をかけることが見え、「神道名目類

聚抄」には守門の神を看督長と称したとある。

隨身【ずいしん】

隨身とは、貴族が外出する際に警護にあたつた近衛府の官人を指します。それには高い教養と優美な美貌が求められたと云います。

駕與丁【かよちょう】

斎王の乗る輿（葱華輦）を担ぐ人です。



長奉送使【ちょうぶそうし】

監送使ともいう。斎王一行を伊勢まで送り届ける群行の最高責任者。沿道における警察権が与えられており、任を終えると直ちに帰京しました。



檢非違使【けびいし】

平安時代から室町時代にかけて京中の警察を担当した職。元来、平安京の治安維持は京職や衛府の任であったが、特定の官人に京中の警察を担当させることがあり、それが檢非違使となり、やがて衛府や京職、彈正台などの権限を吸収し、王朝國家有数の警察機関となつたのである。

看督長【かどのおさ】

檢非違使の下級職員で、身分は火長。弘仁式制では左右それぞれにつき二人と定めら



2番 おいかげ 綾



1
2

3

斎王【さいおう】

天皇の即位ごとに、未婚の内親王（天皇の娘）あるいは女王（天皇の兄弟の娘など）の中から占いで選ばれ、天皇の議位や崩御、あるいは肉親の不幸などにより解任され、都に帰る決まりになっていました。伊勢神宮の祭りには、六月・十二月の月次祭と九月の神嘗祭に関わるのみで、ふだんは斎宮の中で都と同様の生活を送っていたものと考えられています。

古代から中世にかけての文学作品に登場する斎王も多く、『源氏物語』『伊勢物語』など、多くの文献に残されています。

十一单【じゅうにん】



内侍または命婦【ないしままたはみょうぶ】



斎宮で働く女官たちの最高責任者として、乳母や女孺の上にいる立場にありました。

女別当【によべとう】



内侍や宣旨が、斎王の住むエリアで公的性格をもつ仕事をこなす女官であるのに対し、乳母のように、斎王のプライベートな「宮家」としての用向きを担当していたのではないかと考えられます。が、詳しいことはわかりません。

乳母【めのと】

母親に代わって養育を受け持つ女性で、斎宮には、斎王個人の「家」に仕える存在として、二名ないし三名が務めるようになっていました。



童・童女【わらわ・わらわめ】



女孺【うねめ】



都では、地方の郡司の娘から選ばれ、天皇の御前などに奉仕していました。しかし、斎宮に采女がいたかどうかについてはよくわかつていません。

采女【うねめ】

都の官人が、家族で斎宮に赴任したということも考えられますから、その子供達が斎宮内に住んでいたという可能性があります。しかし、群行の一員として加わっていたということはなかつたよう

で、表衣と同じで紋様はありません。桂は、内衣の意味で、垂領、広袖の袷仕立てで地紋があり、一枚重ねて用います。单は桂と同形ですが、袴、丈ともに長く、单仕立てで裾はひねり仕立てになっています。下衣

は表衣と同じで紋様はありません。桂は、内衣の意味で、垂領、広袖の袷仕立てで地紋があり、一枚重ねて用います。单は桂と同形ですが、袴、丈ともに長く、单仕立てで裾はひねり仕立てになっています。下衣



童・童女【わらわ・わらわめ】

斎王フォトコンテスト

斎王賞



「華麗」 津市 江紹介



「斎王群行」 津市 山本艶子

町長賞



「観衆に応えて」 明和町 井上清一



「せいぞろい」 津市 紀平茂晴

斎宮歴史博物館長賞



「出番よ 急いで」 松阪市 高柳美鶴代

特別賞



「にこやかな童女」 伊勢市 島田良平

特別賞



「群行を終えて」 松阪市 阿部道男

フォトコンテスト

特別賞



「楽しい群行」 志摩市 松井文郎



「禊の儀」 鈴鹿市 小林恒市

特別賞



「和やかな子供斎王」 伊勢市 島田てるみ

◆応募・問い合わせ先
〒515-0321
三重県多気郡明和町斎宮280-11番地
電話 0596-152100-2744
FAX 0596-152100-2744
斎王まつり実行委員会事務局

●応募方法
応募には郵送と斎王まつり事務所受付の2通りがあります。
応募作品は応募者本人が撮影したもので1人3点以内、未発表の作品に限ります。

●選考方法
選考は、斎王まつり実行委員会で選考いたします。
入賞・入選作品については、改めてネガをお借りすることができます。
発表は、8月5日前後、新聞紙上にて発表します。

●締切
平成23年7月15日(金)消印有効
郵送方法について
郵送中の事故、破損については責任を負いかねます。

●作品の返却
作品は斎王まつり実行委員会で選考いたしました。
入賞・入選作品については、改めてネガをお借りすることができます。
パンフレットやポスター、ホームページなどへの使用権は主催者に帰属します。

●応募作品
応募作品はご返却いたしません。



第26代斎王役
瀬田 茗



子ども斎王
石川 綾美

斎王まつりに参加して

「斎王、出発します」——色とりどりの照明の中にホタルの光が舞う前夜祭。実行委員の方がインカムの向こう側に発したそ

の言葉で一步をふみだしました。花火とともにあがった歓声、拍手やフラッシュに手をひかれ、舞台上のみなさんの気配に背中をおされ……。少しでものぼりやすいようにと直前まで工夫していくださったスロープを進み、たどりついた襖台からの景色は万華鏡を覗いたようにきらきらと輝いてみえました。つややかな「胡の調べは自分を斎王のもとへと運んでくれるようでした。

発遣の儀を終え、笑顔で旅立つことを誓つたとき、意識が手元から自然に上へ向かっていきました。葱華輦を通りぬける風が心地よく、数々の思いがこの道の深くに在ることを感じながら、見守つてくださっている沿道の方々に届けていくようにと祈つていました。

あざやかな平安絵巻の裏にもかけがえのない物語がありました。これからもこの地にたくさんの心が通い、歴史がかさねられていくことを願っています。

子ども斎王を務めて

私にとって、「斎王まつり」は初めてのことばかりでした。

記者会見や開会宣言のときは、とても緊張したり、群行のときはたくさんの人々に写真をとらせてもらったり、ふだんの生活ではありえないことばかりでした。

でもとても楽しくていい思い出になりました。

また、大人になつたら出てみたいと思いました。

飛鳥時代の大来から南北朝時代の様子まで約六〇年間、飛鳥、奈良、京の都から天皇の御杖代として伊勢神宮に仕えるため、ここ「斎宮」に遣わされた五十数代の斎王やこの地に関わった人々を偲び「斎王まつり」は始まりました。まつりの群行は、一番華やかだった平安時代の群行を再現したものです。

斎王まつりは、今年で二十九回目の開催になります。実行委員会のメンバーはみんなボランティアです。

企業のみなさん、斎王市出店のみなさん、アトラクション出演のみなさん、明和町役場のみなさん、全国から応募いただいた群行主演者のみなさん、報道関係のみなさん、観客のみなさん、数え上げればきりがありません。本当にたくさんの方々に応援していただいたおかげと感謝しています。

三月、東日本大震災が起こりたくさんの被災者がされました。心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。私たちは、まつりを通して元気を被災地に届けたいと思っています。



野花菖蒲の咲く初夏、斎王まつりの季節です。

斎王まつり実行委員会 森下清

主催／斎王まつり実行委員会

後援◎明和町、明和町教育委員会、国土交通省三重運輸支局、斎宮歴史博物館、(財)国史跡斎宮跡保存協会、(財)民族衣裳文化普及協会、明和町観光協会
近畿日本鉄道株式会社、NHK津放送局、三重テレビ放送(株)、三重エフエム放送(株)、松阪ケーブルテレビ・ステーション(株)
問い合わせ◎斎王まつり実行委員会事務局 TEL.0596-52-0054 FAX.0596-52-7274